

事業コード	R01-農-新-05		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	農業農村整備調査計画費		部局課室名	農林水産部 農山村振興課
事業種別	農地集積加速化基盤整備事業		班 名	農村整備計画班 (tel)018-860-1855
路線名等	野村		担当課長名	参事(兼)農山村振興課長 高野 尚紀
箇所名	男鹿市北浦		担当者名	主幹(兼)班長 工藤 淳
プランとの関連	政策コード	03	政策名	新時代を勝ち抜く攻めの農林水産戦略
	施策コード	03	施策名	秋田米の戦略的な生産・販売と水田フル活用
	指標コード	04	施策目標(指標)名	複合型生産構造への転換を支える基盤整備の促進

1. 事業の概要

事業期間	R2~R7 (6年)	総事業費	13.6 億円	国庫補助率	55.0																																																																								
事業規模	区画整理 A=45.4ha																																																																												
事業の立案に至る背景	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現況のほ場は未整備で一部道路もなく効率的な営農ができない状況である。また、用排水路は兼用でかつ土水路のため維持管理に苦慮しており、水はけの悪いほ場では高収益作物の導入が進まず複合経営への大きな支障となっている。 ○ 米価の低迷や米需要の減少、高齢化や農業用施設・農作業機械の老朽化により、地域農業をとりまく環境は厳しく集落機能の低下が懸念されており、新たな農業経営の展開を図る必要がある。 																																																																												
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 区画拡大、用排水路の分離・装工、汎用農地化のための暗渠排水整備、更には高品質・高収量を目指すための地下かんがいシステムの導入により複合経営が可能な基盤づくりを行う。 ○ 集落一体となり設立する農業法人に農地を集積し、団地化・連担化による効率的な農業経営を行うとともに、新たな作物導入により経営基盤の強化を図る。 																																																																												
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全 体</th> <th>R 2 年 度</th> <th>R 3 年 度</th> <th>R 4 年 度</th> <th>R 5 年 度 以 降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>1,360,000</td> <td>149,000</td> <td>275,000</td> <td>341,000</td> <td>595,000</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>882,000</td> <td>0</td> <td>221,000</td> <td>283,000</td> <td>378,000</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>28,000</td> <td>0</td> <td>7,000</td> <td>7,000</td> <td>14,000</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>450,000</td> <td>149,000</td> <td>47,000</td> <td>51,000</td> <td>203,000</td> </tr> <tr> <td>財源</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 国庫補助</td> <td>702,000</td> <td>76,000</td> <td>141,000</td> <td>188,000</td> <td>297,000</td> </tr> <tr> <td> 県債</td> <td>293,000</td> <td>34,000</td> <td>64,000</td> <td>84,000</td> <td>111,000</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>208,000</td> <td>25,000</td> <td>45,000</td> <td>38,000</td> <td>100,000</td> </tr> <tr> <td> 一般財源</td> <td>157,000</td> <td>14,000</td> <td>25,000</td> <td>31,000</td> <td>87,000</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>区画整理 A=45.4ha 暗渠排水 A=45.4ha</td> <td>実施設計 N=1式</td> <td>区画整理 A=15.1ha</td> <td>区画整理 A=15.1ha 暗渠排水 A=15.1ha</td> <td>区画整理 A=15.2ha 暗渠排水 A=30.3ha</td> </tr> </tbody> </table>						全 体	R 2 年 度	R 3 年 度	R 4 年 度	R 5 年 度 以 降	事業費	1,360,000	149,000	275,000	341,000	595,000	経費						工事費	882,000	0	221,000	283,000	378,000	用補費	28,000	0	7,000	7,000	14,000	その他	450,000	149,000	47,000	51,000	203,000	財源						国庫補助	702,000	76,000	141,000	188,000	297,000	県債	293,000	34,000	64,000	84,000	111,000	その他	208,000	25,000	45,000	38,000	100,000	一般財源	157,000	14,000	25,000	31,000	87,000	事業内容	区画整理 A=45.4ha 暗渠排水 A=45.4ha	実施設計 N=1式	区画整理 A=15.1ha	区画整理 A=15.1ha 暗渠排水 A=15.1ha	区画整理 A=15.2ha 暗渠排水 A=30.3ha
	全 体	R 2 年 度	R 3 年 度	R 4 年 度	R 5 年 度 以 降																																																																								
事業費	1,360,000	149,000	275,000	341,000	595,000																																																																								
経費																																																																													
工事費	882,000	0	221,000	283,000	378,000																																																																								
用補費	28,000	0	7,000	7,000	14,000																																																																								
その他	450,000	149,000	47,000	51,000	203,000																																																																								
財源																																																																													
国庫補助	702,000	76,000	141,000	188,000	297,000																																																																								
県債	293,000	34,000	64,000	84,000	111,000																																																																								
その他	208,000	25,000	45,000	38,000	100,000																																																																								
一般財源	157,000	14,000	25,000	31,000	87,000																																																																								
事業内容	区画整理 A=45.4ha 暗渠排水 A=45.4ha	実施設計 N=1式	区画整理 A=15.1ha	区画整理 A=15.1ha 暗渠排水 A=15.1ha	区画整理 A=15.2ha 暗渠排水 A=30.3ha																																																																								
調査経緯	<ul style="list-style-type: none"> ○ 平成29年度基礎調査(調査費 2,500千円 県50%、地元50%) ○ 平成30年度実施計画(調査費 17,100千円 国50%、県20%、地元30%) ○ 令和元年度調査計画(調査費 2,000千円 県50%、地元50%) 																																																																												
上位計画での位置付け	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3期ふるさと秋田元気創造プラン「秋田米の戦略的な生産・販売と水田フル活用」 ○ 第3期ふるさと秋田農林水産ビジョン 																																																																												
関連プロジェクト等	○ 特になし																																																																												
事業を取り巻く情勢の変化	<ul style="list-style-type: none"> ○ TPP協定の合意や米価の下落、生産調整の廃止など、農業を取り巻く環境が厳しさを増しているなか、農山村地域では過疎化や高齢化が進み、地域の集落機能の低下や担い手の不足等により、農業生産力が低下するとともに、定住基盤の崩壊が懸念されている。このためほ場整備事業を導入し、生産力の強化と法人等への集積と複合経営により経営基盤の強化を図る必要がある。 																																																																												
事業効果把握の手法	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th colspan="2">担い手が経営する面積割合(%)</th> <th rowspan="2">低減指標の有無 データ等の出典</th> <th rowspan="2">○有 ●無 基盤整備関連経営体等 促進計画 令和元年 6月</th> </tr> <tr> <th>指標の種類</th> <th>● 成果指標</th> <th>○ 業績指標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値 a</td> <td colspan="2">90.0 %</td> <td rowspan="3">把握の時期</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績値 b</td> <td colspan="2">100.0 %</td> </tr> <tr> <td>達成率 b/a</td> <td colspan="2">111.1 %</td> </tr> </tbody> </table>					指標名	担い手が経営する面積割合(%)		低減指標の有無 データ等の出典	○有 ●無 基盤整備関連経営体等 促進計画 令和元年 6月	指標の種類	● 成果指標	○ 業績指標	目標値 a	90.0 %		把握の時期		実績値 b	100.0 %		達成率 b/a	111.1 %																																																						
指標名	担い手が経営する面積割合(%)		低減指標の有無 データ等の出典	○有 ●無 基盤整備関連経営体等 促進計画 令和元年 6月																																																																									
指標の種類	● 成果指標	○ 業績指標																																																																											
目標値 a	90.0 %		把握の時期																																																																										
実績値 b	100.0 %																																																																												
達成率 b/a	111.1 %																																																																												

2. 所管課の1次評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地区の大部分が未整備の小区画で、道路もすれ違いが困難であり、効率の悪い営農を強いられており、農地の集積が進んでいない。 ○ 排水不良により地下水位が高く、畑作物の導入ができない状況であることから、事業の必要性は高い。 	15点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 耕作者の高齢化率が77%と高く、後継者の確保に苦慮している。 ○ 施設の老朽化により応急対策が日常化しているなど、維持管理費が増加傾向にある。 	10点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の実施により、新たに設立する1法人に100%の農地を集積し、えだまめやかぼちゃ等の高収益作物の生産や、近隣にある男鹿温泉郷での野菜の販売を計画しており有効性は高い。 ○ 事業を契機としてドローンを導入し、稲の成育状況の監視を行うなどの先進的技術に取り組む。 	28点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業による、ほ場の区画拡大や、それに伴う機械体系の大型化により、作業の効率化・省力化が図られるとともに、排水改良による高収益作物の作付け面積の拡大など、多様な効果が見込まれ、費用対効果は1.11となる。 	8点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 同意率は100%であり、事業に対する農家の期待は高い。 ○ 地域環境検討委員会で地区の環境保全への取り組みについて十分検討されており、熟度は高い。 	23点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III) 米依存からの脱却を図る農業基盤の核となるほ場整備事業であり、事業の必要性、有効性、熟度をはじめ、各項目とも評価は高い。	84点
総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留 ほ場整備を契機として、造成される汎用水田を活かし、えだまめやかぼちゃ、ねぎ等の高収益作物を核とした法人経営に取り組み、米に依存しない複合型の生産構造の確立を図るための事業であり、実施は妥当であると考えます。	

3. 総合政策課長の2次評価

総合評価	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
/	

4. 財政課長意見

意見内容	○ 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
/	

5. 最終評価 (新規箇所選定会議)

総合評価	● 選定 ○ 改善して選定 ○ 保留
事業実施は妥当である。	

6. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

計画的な実施に努める。

7. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 新規箇所評価
適用事業名 ほ場整備事業

事業コード (R01-農-新-05)
箇所名 (男鹿市北浦)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	事業の必要性	労働生産性の現状 (区画の現状)	未整備で地区の過半が10a未満の区画	5	5	地区の過半が10a未満	
			未整備で地区の過半が10a以上30a未満の区画	3			
			整備済みで地区の過半が30a以上の区画	0			
	農作業への支障状況 (農道の現状)	農道幅員4.0m未満(軽トラックすれ違い困難)	5	5			現状幅員2.0m程度
		農道幅員4.0m以上(軽トラックすれ違い可能・農業機械すれ違い困難)	3				
	畑作への対応状況	排水不良であり、畑作ができない	5	5			排水不良であり、畑作困難
		畑作しているが、品質・収量が劣る	3				
畑作に支障はない	0						
計				15	15		
緊急性	事業未実施の影響						
	応急対策の実施状況	施設の老朽化等により応急対策は日常化している	5	5	毎年用排水路の応急対策を実施		
		これまでに応急対策を実施したことがある	3				
		応急対策を実施したことはない	0				
	受益者の高齢化状況	高齢化率65%以上	5	5	高齢化率 77% (75/98)		
		高齢化率65%未満	3				
	他事業との関連						
他事業との関連	関連する事業があり、調整しながら同時に実施する必要がある	5	3	-			
	関連する事業がある	3					
	関連する事業はない	0					
計				15	10		
有効性	上位計画への貢献度						
	第3期ふるさと秋田元気創造プラン	プランに関連する事業である	5	5	第3期ふるさと秋田元気創造プランに関連		
		プランとは別の個別計画に関連する事業である	3				
		プラン、個別計画に関連しない事業である	0				
	期待される具体的効果						
	採択希望事業	新型事業：農地中間管理機構関連ほ場整備事業	5	2	既存事業で採択希望		
		既存事業：農業競争力強化基盤整備事業	2				
	担い手等への集積	担い手への集積率が90%以上かつ面的集積率が70%以上である	5	5	担い手集積率 100% 面的集積率 91.9%		
		担い手への集積率が90%以上かつ面的集積率が50%以上70%未満である	3				
		担い手への集積率が90%未満	0				
	複合型生産構造への転換の加速化	高収益作物生産額の割合が8割以上となる	5	5	高収益作物割合 92.2% 増加率 2095.4%の増		
		高収益作物生産額の割合が5割以上、かつ50%以上増加	3				
		高収益作物への取組は行わない	0				
6次産業化への取組	生産・加工・販売に取り組む	5	3	男鹿温泉郷での収穫した野菜や米の販売			
	生産だけでなく、加工または販売、契約栽培に取り組む	3					
	6次産業化に取り組まない	0					
日本型直接支払等の取組	共同活動により、施設の維持管理等の取組が行われている	5	5	共同活動を行っている			
	共同活動による取組は行われていない	0					
先進技術の導入への取組状況							
先進技術の導入状況	ICT等を活用し、省力化施設等の整備を行う計画がある	5	3	ドローンによる稲の生育状況の監視			
	営農ロボット等を活用した営農計画がある	3					
	先進技術の導入計画がない	0					
計				35	28		
効率性	事業の投資効果						
	費用対効果	B/C=1.2以上	5	3	費用対効果 1.11		
		B/C=1.0以上1.2未満	3				
	事業実施コストの縮減						
コスト縮減計画	コスト縮減計画を策定、事業計画に反映	5	5	一部区間で用排兼用水路の設置			
	コスト縮減計画はない	0					
計				10	8		
熟度	地元の合意形成の状況						
	同意状況	全農地について農地中間管理機構の設定が確実である又は全員の同意が得られている	10	10	同意率 100%(98/98)		
		未同意者が存在するが、調整等により事業実施が可能	5				
		未同意者が存在し、支障がある	0				
	土地改良区への加入状況						
	土地改良区への加入状況	土地改良区へ加入済み又は事業着手までに加入予定	5	5	男鹿市土地改良区に加入済み		
		事業完了までに加入予定である	3				
		加入できない	0				
	事業進捗のための各種協議の進捗状況						
	進捗状況 (水利権、道路協議、林地開発、指定区域等)	協議を終了しており、合意が得られている	5	3	一部協議について協議中であるが、合意が得られる見込み		
協議中であり、合意が得られる見込みである		3					
協議中である		1					
環境との調和への配慮状況							
環境保全への配慮	地域環境検討委員会を設置、環境保全への取組内容が十分	5	5	環境検討委員会で環境保全の取り組みを検討済み			
	地域環境検討委員会を設置、環境保全への配慮を検討中	3					
	地域環境検討委員会が未設置	0					
計				25	23		
合計				100	84		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		